

学年→4年

時数→8時間

## 意見交流会で自分の意見を発信しよう

### 実践のポイント

普段触れる機会の少ない「点字」に触れ、違った表現方法の情報の受け止め方を理解するとともに、それを使う人の立場を理解し、相手を大切にした情報の受信・発信を行うことができるようしたい。

### 教科のめあて

- ・自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝えることができる。
- ・自分の伝えたいことが相手に伝わるように、資料を整えて伝えることができる。
- ・相手の立場を理解し、その考えを理解できる。

### 情報教育のめあて

- ・違った手法を用いて発信された内容を理解し、それを用いて自分の考えを発信しようとする。
- ・違った立場からの発信を相手の立場になって理解した上で意見を交流させようとする。

**準備するもの** 点字の教科書や本／点字の具体物（なるべく子どもたちが見つけたもの）／点字を打つ機械

### →活動の流れ

#### 1 「手と心で読む」をよんで「点字」について学習する（3時間）

「手と心で読む」をよみ、以下の作業を行い「点字」についての理解を深める。

- ①初めて出会うことばの意味を理解する。
- ②何を伝えているかの概要をとらるために、簡単な小見出しを付ける。
- ③つなぎ言葉の学習を通して、点字についてどのように述べられているのかを理解する。
- ④文中で紹介される北原白秋の詩について学ぶ。

### ・子どもの反応

- ▶点字についてもっと知りたいなあ。
- ▶点字を打ってみたいなあ。



- 4年生の多くの子どもにとって、点字は「はじめての出会い」である。点字に触れて、それ自体に关心を持つとともに、それを使う人の立場を理解しようとするようにさせたい。

#### 2 点字探しをし、点字を使うということを体験する（2時間）

以下の作業を通じて点字を体験し、身の回りで点字が使われているものを探す。

- ①点字を打つ機械で自分の名前を打ち、点字の名刺をつくる。
- ②点字の教科書や、点字で表現されているアニメなどに実際にふれて体験する。



点字器で自分の名刺を作る

### ・子どもの反応

- ▶駅や、学校にも点字があるね。
- ▶今まで気づいていなかった所にも点字が打ってあったんだ。



### ほなまるポイント

- 実際に点字を打ち、触ることで学習への意欲を高めるとともに、それを使う人の苦労を理解できる。また、さまざまなところに使われている点字を見つけることを通し、それがなければ困る人の様子を想像させる。

#### 3 点字について調べ、友だちと伝え合う（2時間）

①点字に関する疑問や詳しく知りたくなったことについて、インターネットや本、事典などを使って調べる。

- ②調べたことを元にした自分の発見を画用紙1枚程度の資料に分かりやすくまとめ、クラス内や他のクラスの友だちと伝え合う。



点字について調べたことを伝え合う

### ・子どもの反応

- ▶お金についている点字について調べました。
- ▶点字がなぜ生まれたか、詳しく調べました。



### ほなまるポイント

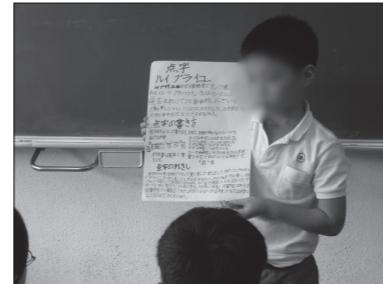
- この活動では、「話すこと」を中心にして「伝える」ための資料作りを目指したい。何を示したら自分の思いや考えが伝えられるかを考えさせることが大切である。点字の写真1枚を分かりやすく貼っただけでも、話して伝えるための重要な資料になることなどを例示するとよい。

- 子どもたちは、資料づくりに自分らしさや力を注いだ分だけ、その資料に思いがこもる。時数制限の許す範囲で、自分らしい資料作りに丁寧に取り組ませた方が能動的な「発信」が期待できる。

## 4 意見交流会をする（1時間）

点字についての発見や考えたことなどを発表し合い、意見交流会をする。

- ①話し合い進行カードを使って、子どもに司会をまかせる。
- ②点字についての発見や、考えたことを発表する。
- ③自分の意見に対して友だちから意見や質問をもらい、考え方の違いを理解する。



点字に関する意見交流会をする

### ●子どもの反応

- ▶点字ブロックは大切なものです！
- ▶私も点字の学習をして、点字がとても身近なところにあることを知りました。
- ▶点字は「おもしろい」と思いました。
- ▶「点字がおもしろい」というのは、使う人に失礼な気がします。



- 話し合いで、進行カードを用意し、司会進行の方法を提示してあげるとよい。

4年〇組 話し合い 進行カード（司会）	
<p>①これから、4年〇組の話し合いをはじめます。 （みんな：はじめます！）</p> <p>②今日の司会は〇〇さんです。今日の司会をすめます自分の中では〇〇です。 （みんな：よろしくおねがいします！）</p> <p>＊司会は〇〇さんです。（副司会はめあてを言う） （よい終でから）よろしくおねがいします。</p> <p>＊副司会は〇〇さんです。（ノート記録はめあてを言う） （よい終でから）よろしくおねがいします。</p> <p>＊ノート記録は〇〇さんです。（ノート記録はめあてを言う） （よい終でから）よろしくおねがいします。</p> <p>③今日の話し合いのめあては「 」です。 （みんな：めあてを守れるとこで取り組みましょう。）</p> <p>④つぎに、自分のめあては書いてあるでしょうか。 （個人のめあてもしっかり守れるようにがんばってください。）</p> <p>⑤それでは、今日話し合うことは「 」についてです。 （いつものめあてはありますか？）</p> <p>⑥まず、今日の話し合いについてあんをしました〇〇さん、そのあん内容や、 （ついでに）あんじゆうを言ってもらいます。ていあん者の〇〇さん、よろしくおねがいします。</p> <p>⑦ていあん者の〇〇さんは「しつらん」はありませんか？ （しつらんがあれい）ていあん者の〇〇さん、答えてください。 ⑧それでは、話し合いに入ります。 ○ 言葉はありませんか。 （さんせい意見・反対意見・原案とちがう新しい意見 はありませんか。）</p> <p>× 一人一回は必ず発言してください。</p>	
<p>⑨ 今の意見について、どう思いますか。 （できるだけ意見をたくさん発表してもらう。決定を急がない。）</p> <p>○ 点を決定するときは… ○ ○〇という意見が多いと思いますが、〇〇でよろしいでしょうか。 ○ ○〇という意見をしつらんする人は、はくじゅをおねがいします。 それでは、〇〇という意見で決定します。</p> <p>＊副司会は〇〇さんです。（副司会はめあてを言う） （よい終でから）よろしくおねがいします。</p> <p>＊副司会は〇〇さんです。（ノート記録はめあてを言う） （よい終でから）よろしくおねがいします。</p> <p>感想的な意見のふつかり合いになっているとき… 〇〇さんと〇〇さん、意見をありがとうございます。司会が意見を整理します。 〇〇さんは△△といい意見でいいですか？〇〇さんは××といい意見でいいですか？まわりのひとは2人の意見をどのように考えますか。</p> <p>一人の意見を多数で強くせめたりした場合… すぐに発言をやめさせる。 「报名されていない人は、司会に指名されてから発言をしてください。 やめない場合は、名前を呼んで注意する。」</p> <p>⑩ それは、今日の話し合いをすべておわります。 ⑪ 今日、話し合ったことをノート記録さん、発表してください。 ⑫ ノート記録の発表 ⑬ それでは、先生のお話です。 ⑭ 今日の話し合いのふりかえりをしてください。 ⑮ これで、4年〇組の話し合いをおわります。（みんな：おわります）</p>	

話し合い進行カード



- 子どもの反応で「点字がおもしろい」という表現に対して意見が出ていたように、点字を使う人の立場を深く理解した者とそうでもない者との間でそれに対する思いの違いが生じる。交流会を通して互いの考え方の元になっている情報を伝え合うことで理解に導き、話し合いの大切さに気づかせていきたい。
- チャットやブログ等の書き込みとは違い、交流会では、普段話している「相手」に正しく自分の思いを理解してもらうということを経験し、そのことの意義と楽しさを理解させようしたい。

## 実践者からのアドバイス

### ●子どもの主体性を大切に

調べたり、まとめたりする学習は、子どもが知りたいことから取り組ませるようにする。点字は、初めて出会う多くの子どもにとって、新しい発見が豊富な題材である。子どもの知りたい気持ちを大切にし、新たな発見に導くことで「伝え合い」や「話し合い」に向けての意欲や質も高まる。進んで考えや情報を発信したくなるよう、自分ならではの発見に気づかせ、子どもの主体的な行動に結び付けさせたい。

### ●話し合いは、認め合い

話し合いのときに友だちと意見が違うということは、子どもにとって大きな抵抗である。しかし、どうして意見が違ったのか、原因に焦点を当てて理解できるように導くことで、子どもは分かり合える喜びを知り、話し合うことの大切さを感じ取ることができるであろう。

意見交流会を充実させるには、日常から認め合う体験を多く持たせ、話し合いがしたくなる環境づくりが大切である。認め合う気持ちを育てるために、帰りの会に「良かった探し」や「ありがとうのコーナー」などを設けるなどして、個々の言動の元にある持ち味の違いに気づかせ、認め合えるように導くことが望まれる。

